

# 台湾ラジオ資料集

全六巻・別冊……全二回配本（編集復刻版）

## 附・南方軍宣伝報道検閲詳報

植 民地台湾のラジオの歴史は、1925年、総督府による試験放送に始まり、45年11月、中国による台湾放送協会施設の接收で幕を閉じる。

台湾放送協会は日本内地、つまり日本放送協会の放送を島内へ中継放送するほか、台湾児童の音楽や高砂族の伝統芸能など、台湾における独自番組も制作・放送。

1932年に「日本」最初の広告放送を試み、1937年中戦争期以降は海外放送を開始、アジア・太平洋戦争期には台湾人向けに第二放送も実施。

敗戦の年、台湾には台北・台南・台中・嘉義・花蓮港、五つの放送局があり、聴取契約数も十万を超えていた。

- ① 台湾放送協会の広報紙『ラヂオタイムス』
- ② 戦後関係者によってまとめられた『外地海外電気通信史資料 台湾の部』
- ③ 軍による対敵宣伝、対民衆宣伝、報道、軍内宣伝活動を詳述する『宣伝報道業務詳報』



# 4-6 巻

## ③ 『宣伝報道業務詳報』

第十四軍とは、1941年11月に南方軍隷下の軍として設置され、フィリピン方面を作戰地域とした軍隊。本班には、日本国内から多数文化人が動員され、文壇・新聞・写真・映画・演劇・放送・印刷など、その分野は多岐にわたる。その中には、石坂洋次郎、尾崎士郎、今日出海、寺下辰夫などの作家も所属し、フィリピンにおける軍宣伝活動の実態がわかる。



月日時分	放送時間	放送題目	講演者
五三二	八〇〇	日本入ノ性格(放送班編)	エリソン
五三三	八〇〇	端午ノ節句( )	アルマリオ
五三四	八〇〇	大東亜英傑園ニ於ケル比島(投稿)	ピオ・テエラン
五三五	八〇〇	日本入ト比島入ト習慣(投稿)	アウエン
五三六	八〇〇	四十七士	アウエン
五三七	八〇〇	日比経済関係ニ就テ	アウエン
五三八	八〇〇	比島比律賓風習(保存)價値	アウエン
五三九	八〇〇	ゴレヒドール(陥落)	アウエン
五四〇	八〇〇	拔萃(太平洋ノ冒險)	アウエン
五四一	八〇〇	自由ノ為メ戦ヒ(放送班編)	アウエン
五四二	八〇〇	農業指導講座	アウエン
五四三	八〇〇	比島同胞ニ告ケ	アウエン

台湾放送の聴取空間は広く、北は「満洲」・「北支」から南はフィリピン・インドにおよぶ。

アジア・南方への対外宣伝拠点としての台湾ラジオ放送 全六巻・別冊【編集復刻版】

# 台湾ラジオ資料集

## 附・南方軍宣伝報道検閲詳報

編・解題—井川 充雄 (立教大学社会学部教授)  
 造 本—A4/B5/A5判 並製・総約1,200頁  
 揃 価—68,000円 (配本毎分売可)  
 資料提供—大分大学経済学部教育研究支援室  
 東京大学情報学環図書室

- 【第二回配本】2020年9月 配本揃価 25,000円 ISBN978-4-909680-68-6
- 第四巻 (A5並製、約150頁) 『宣伝報道業務詳報 自昭和17年4月1日至4月30日』 (第十四軍宣伝班、(1942年))
- 第五巻 (A5並製、約150頁) 『宣伝報道業務詳報 自昭和17年5月1日至5月31日』 (同上)
- 第六巻 (A5並製、約150頁) 『宣伝報道業務詳報 自昭和17年6月1日至6月30日』 (同上)
- 別冊 (30頁) ISBN978-4-909680-69-3 (別冊のみ分売可 1,000円) \*解題・総目次

- 【第一回配本】2020年3月 配本揃価 43,000円 ISBN978-4-909680-67-9
- 第一巻 (A4並製、153頁) 『ラヂオタイムス』 36、37、39～63、65、66号 (台湾放送協会、1935年12月～38年6月)
- 第二、三巻 (B5並製280頁/276頁) 『外地海外電気通信史資料 3 台湾の部』 (日本電信電話公社、1936年)

Kenazawa Bumpokaku  
**金沢文圃閣**  
 〒920-0867 金沢市長土塀2-16-30  
 Tel 076-261-8384 Fax 233-3111  
 〓書店様へ…ありがとうございます〓  
 直接小冊までお申し込みください  
 〓価格は税別 051/05/4000〓

類縁書  
 『台湾子供世界』・『台湾少年界』 一戦前期台湾児童文化雑誌  
 【全6・別冊】  
 編・解題—横田 由紀子  
 揃価—40,000円

参考文献：『台湾放送協会』（放送文化研究所20世紀放送史編集室、1998）他